

京都大学大学院教育学研究科グローバル教育展開オフィス
タンペレ大学教育文化学部 EDUKNOW/TRANSIT 研究センター共同開催

オンラインセミナー

教育輸出の倫理的・政治的課題：日本とフィンランドの比較から

THE ETHICS AND POLITICS OF EDUCATIONAL EXPORT

JAPAN AND FINLAND IN A COMPARATIVE PERSPECTIVE

2022年2月16日（水） 17時00分～19時00分 (JST)

使用言語：英語（同時通訳あり）

今日、多くの先進国が教育輸出を国内経済成長やソフトパワー外交の手段として位置づけている。教育輸出事業は、各国の政治・経済・制度・歴史的文脈をうけて、どのように形成され、どのような特徴を有しているのだろうか。また、教育を商品として、または開発援助の手段として輸出することに関しては、どのような政治的・倫理的課題が存在するのだろうか。フィンランドでは「koulutusvienti（教育の輸出）」、日本では「Edu-Port」の名のもと、国家主導のプロジェクトとして、「フィンランド型教育」や「日本式教育」が積極的に海外展開されている。本セミナーでは、両国の事例を比較考察することで、教育輸出と国際教育協力の課題と可能性について議論する。

事前申込：[こちら](#)から事前登録をお願いします

お問い合わせ

グローバル教育展開オフィス

globaledu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp



高山敬太 教授

京都大学大学院教育学研究科



興津妙子 教授

大妻女子大学文学部

コミュニケーション文化学科



HENNA JUUSOLA 博士研究員

タンペレ大学経営学部



KIMMO KUORTT

博士課程在籍研究員

タンペレ大学教育文化学部